

FY 2020 / JGP2020

2021年3月期 第1四半期 決算/通期業績予想
説明資料

2020年9月18日

株式会社日本製鋼所
代表取締役社長 宮内 直孝

JSW

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

事業セグメント変更(03~05)

事業セグメントの構成と主要製品 / 事業セグメント変更の概要 / サブセグメント変更の概要

PART I

2021年3月期 第1四半期実績

- 07 受注高・売上高・利益の状況
- 08 セグメント別
- 09 産業機械事業
- 10 素形材・エンジニアリング事業

PART II

2021年3月期 通期計画

- 12 受注高・売上高・利益の計画
- 13 営業利益増減要因
- 14 セグメント別
- 15 産業機械事業
- 16 素形材・エンジニアリング事業
- 17 設備投資・減価償却費、キャッシュ・フロー、財務体質、研究開発費の状況
- 18 受注残高の推移

PART III

事業概況

- 20 産業機械事業 主要製品の今期受注概況
- 21 素形材・エンジニアリング事業 主要製品の今期見受注概況

参考資料(23~25):

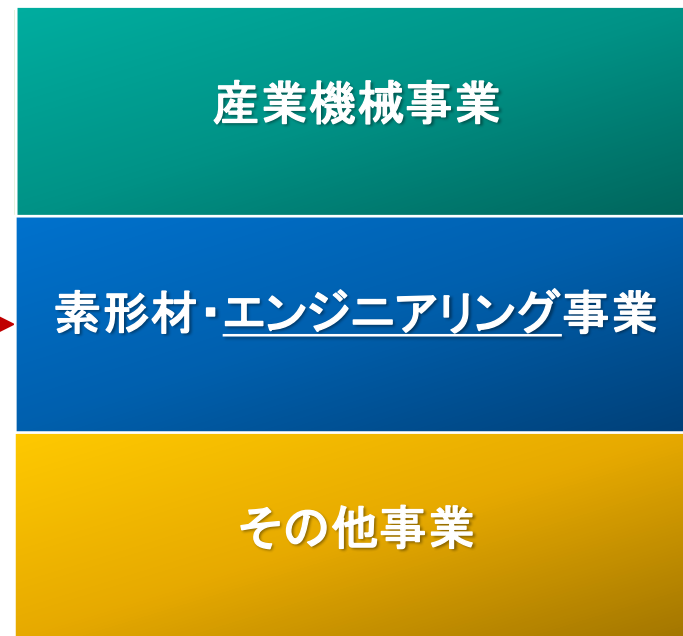
売上高・営業利益・純利益の推移 / 主要な財産状況・キャッシュ・フローの推移 / 日本製鋼所企業行動基準(2018年4月1日改正)

事業セグメント	産業機械事業			素形材・エンジニアリング事業		その他事業			
事業組織	樹脂機械事業部、成形機事業部、産業機械事業部、特機本部			日本製鋼所M&E		新事業推進本部			
生産拠点	<p>広島 横浜 名古屋</p>   			室蘭					
製品	<p>【樹脂製造・加工機械】</p> <ul style="list-style-type: none"> 造粒機 フィルム・シート製造装置 二軸混練押出機 アフターサービス  <p>【成形機】</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスチック射出成形機 マグネシウム射出成形機 中空成形機 アフターサービス   <p>【その他産業機械】</p> <ul style="list-style-type: none"> レーザアニール(ELA)装置 成膜装置 防衛関連機器 鉄道製品 プレス・ラミネータ その他産業機械各種 アフターサービス 			<p>【鍛造鋼製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応容器部材(シエル、ヘッド他) ローター軸 製鉄用圧延ロール 蒸気発生器部材 タービンケーシング その他鍛造鋼品各種 金型用鋼  <p>【クラッド製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラッド鋼板 クラッド鋼管  <p>【エンジニアリングサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> プラント・インフラ鋼構造物及び工事 非破壊検査・分析検査サービス   		<p>【新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 航空機 水素 フォトニクス 機能材料 金属材料 			
市場	石油化学	産業機械	自動車	IT	防衛	電力・鉄鋼	石油・天然ガス	自然エネルギー	新事業

2020年3月期まで



2021年3月期から



風力発電保守

2020年3月期まで

産業機械事業

樹脂製造・加工機械

成形機 (連結)

FPD装置 (連結)

その他

連結会社他

ジーエムエンジニアリング社
ニチユマシナリー社
SM Platek 社

2021年3月期から

産業機械事業

樹脂製造・加工機械

成形機

その他

※ジーエムエンジニアリング社： シート製造装置メーカー。
ニチユマシナリー社： 巻取機メーカー。
SM Platek 社 (韓国)： 二軸混練押出機メーカー。

素形材・エネルギー事業

鋳鍛鋼品

クラッド鋼板・鋼管

連結会社他

石油精製用圧力容器

素形材・エンジニアリング事業

鋳鍛鋼品

クラッド鋼板・鋼管

エンジニアリング他

風力発電機
保守

その他事業

その他事業



2021年3月期 第1四半期実績

PART I



受注高・売上高・利益のいずれも、前年同期比減。

(単位：億円)

	20.3期 第1四半期 実績(A)	21.3期 第1四半期 実績(B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
受注高	469	337	△132	71.9%
売上高	539	415	△124	77.0%
営業利益	69	10	△59	14.5%
(率)	12.8%	2.4%	△10.4%	-
経常利益	77	11	△66	14.3%
純利益	62	9	△53	14.5%
1株当たり 純利益 (円)	85.49	12.27	△73.22	14.4%
1株当たり 配当金 (円)	-	-	-	-

産業機械事業

(単位：億円)

	20.3期 第1四半期 実績(A)	21.3期 第1四半期 実績(B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
受注高	362	248	△114	68.5%
売上高	440	342	△98	77.7%
営業利益 (率)	64 14.5%	34 9.9%	△30 △4.6%	53.1% -

素形材・エンジニアリング事業

	20.3期 第1四半期 実績(C)	21.3期 第1四半期 実績(D)	前期比 増減額 (D)-(C)	前期比 比率 (D)÷(C)
受注高	101	83	△18	82.2%
売上高	88	68	△20	77.3%
営業利益 (率)	12 13.6%	3 4.4%	△9 △9.2%	25.0% -

売上高・営業利益

	20.3期 第1四半期 実績(A)	21.3期 第1四半期 実績(B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
樹脂製造・ 加工機械	144	135	△9	93.8%
成形機	178	98	△80	55.1%
その他	118	109	△9	92.4%
合計	440	342	△98	77.7%
営業利益	64	34	△30	53.1%

受注高

(単位：億円)

	20.3期 第1四半期 実績(C)	21.3期 第1四半期 実績(D)	前期比 増減額 (D)-(C)	前期比 比率 (D)÷(C)
	134	103	△31	76.9%
	152	93	△59	61.2%
	76	52	△24	68.4%
合計	362	248	△114	68.5%

(単位：億円)

売上高・営業利益

	20.3期 第1四半期 実績(A)	21.3期 第1四半期 実績(B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
鋳鍛鋼品	46	37	△9	80.4%
クラッド鋼板・ 鋼管	12	15	3	125.0%
エンジニアリング 他	30	16	△14	53.3%
合計	88	68	△20	77.3%
営業利益	12	3	△9	25.0%

受注高

	20.3期 第1四半期 実績(C)	21.3期 第1四半期 実績(D)	前期比 増減額 (D)-(C)	前期比 比率 (D)÷(C)
	36	43	7	119.4%
	47	2	△45	4.3%
	18	38	20	211.1%
合計	101	83	△18	82.2%



2021年3月期 通期計画

PART II



受注高は前年比135億円減の1,980億円、売上高は前年比275億円減の1,900億円、営業利益は前年比117億円減の70億円を見込む。

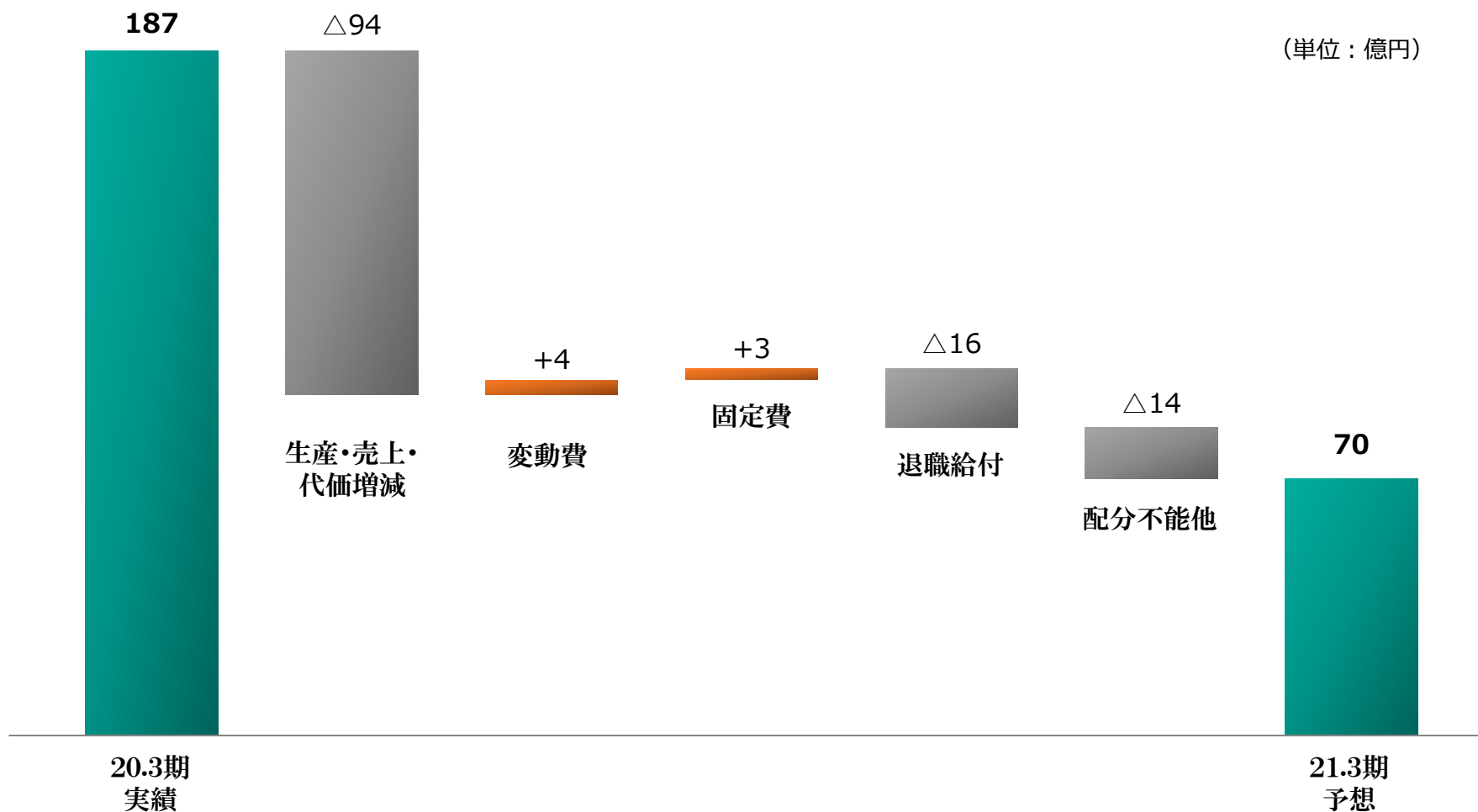
(単位：億円)

	20.3期 実績 (A)	21.3期 予想 (B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
受注高	2,115	1,980	△135	93.6%

売上高	2,175	1,900	△275	87.4%
営業利益 (率)	187 8.6%	70 3.7%	△117 △4.9%	37.4% -
経常利益	199	70	△129	35.2%
純利益	93	40	△53	43.0%
1株当たり 純利益 (円)	126.66	54.38	△72.28	42.9%

1株当たり 配当金 (円)	45.0	35.0	△10.0	77.8%
------------------	------	------	-------	-------

生産・売上・代価増減を主要因として減益を見込む。



産業機械は、受注高・売上高・営業利益のいずれも前年比減。

素形材・エンジニアリングは、受注は前年比増、一方で売上高・営業利益は減を見込む。

(単位:億円)

産業機械事業

	20.3期 実績(A)	21.3期 予想(B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
受注高	1,626	1,470	△156	90.4%
売上高	1,714	1,470	△244	85.8%
営業利益	192	115	△77	59.9%
(率)	11.2%	7.8%	△3.4%	-

素形材・エンジニアリング事業

	20.3期 実績(C)	21.3期 予想(D)	前期比 増減額 (D)-(C)	前期比 比率 (D)÷(C)
受注高	462	485	23	105.0%
売上高	428	400	△28	93.5%
営業利益	27	15	△12	55.6%
(率)	6.3%	3.8%	△2.6%	-

成形機不振が大きく影響し、売上高・受注高とも前年比減を見込む。

売上高・営業利益

	20.3期 実績(A)	21.3期 予想(B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
樹脂製造・ 加工機械	613	610	△3	99.5%
成形機	653	450	△203	68.9%
その他	448	410	△38	91.5%
合計	1,714	1,470	△244	85.8%
営業利益	192	115	△77	59.9%

受注高

(単位：億円)

	20.3期 実績(C)	21.3期 予想(D)	前期比 増減額 (D)-(C)	前期比 比率 (D)÷(C)
	608	590	△18	97.0%
	533	450	△83	84.4%
	485	430	△55	88.7%
	1,626	1,470	△156	90.4%

売上高はクラッド鋼板・鋼管やエンジニアリング他で前年比減、
受注高はクラッド鋼板・鋼管やエンジニアリング他で前年比増を見込む。

(単位：億円)

売上高・営業利益

	20.3期 実績(A)	21.3期 予想(B)	前期比 増減額 (B)-(A)	前期比 比率 (B)÷(A)
鋳鍛鋼品	196	205	9	104.6%
クラッド鋼板・ 鋼管	128	110	△18	85.9%
エンジニアリン グ他	104	85	△19	81.7%
合計	428	400	△28	93.5%
営業利益	27	15	△12	55.6%

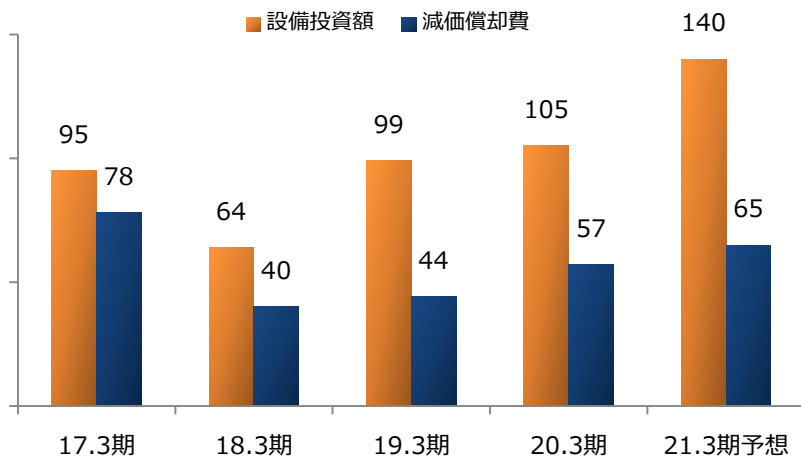
受注高

	20.3期 実績(C)	21.3期 予想(D)	前期比 増減額 (D)-(C)	前期比 比率 (D)÷(C)
	229	210	△19	91.7%
	149	180	31	120.8%
	84	95	11	113.1%
合計	462	485	23	105.0%

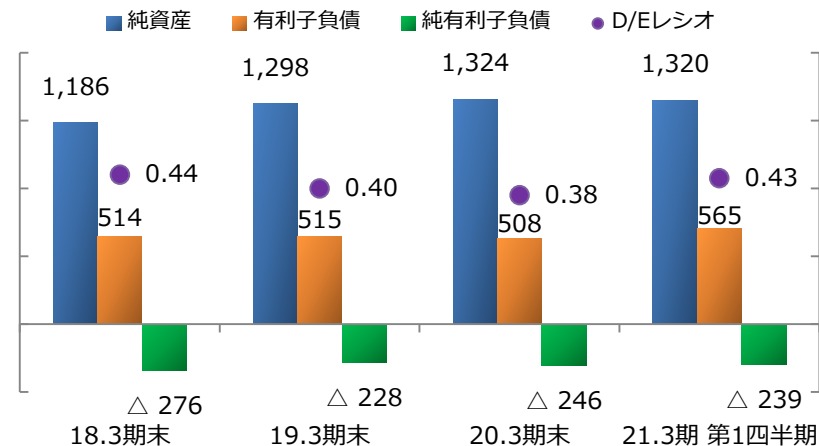
2021年3月期:設備投資・減価償却費、キャッシュ・フロー、財務体質、研究開発費の状況

(単位：億円)

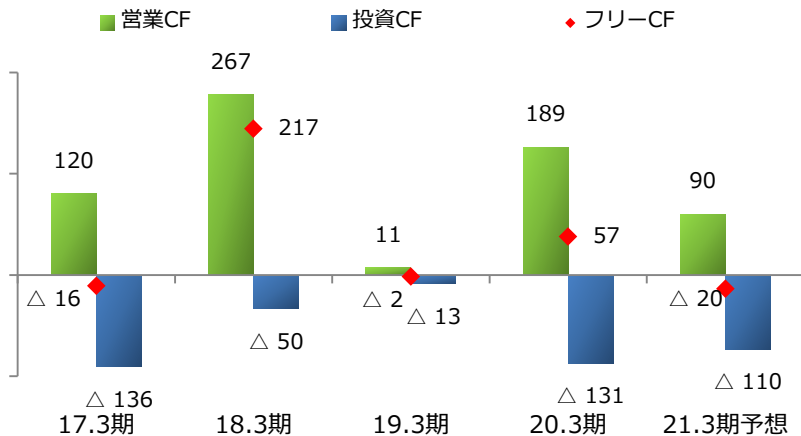
設備投資・減価償却費の状況



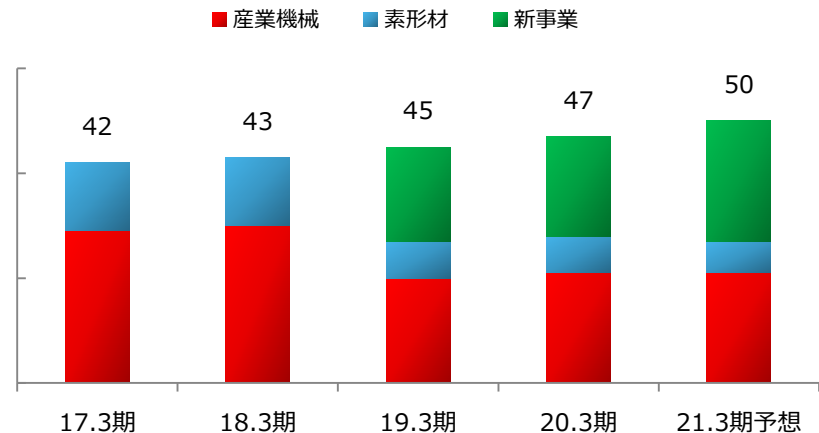
財務体質の状況



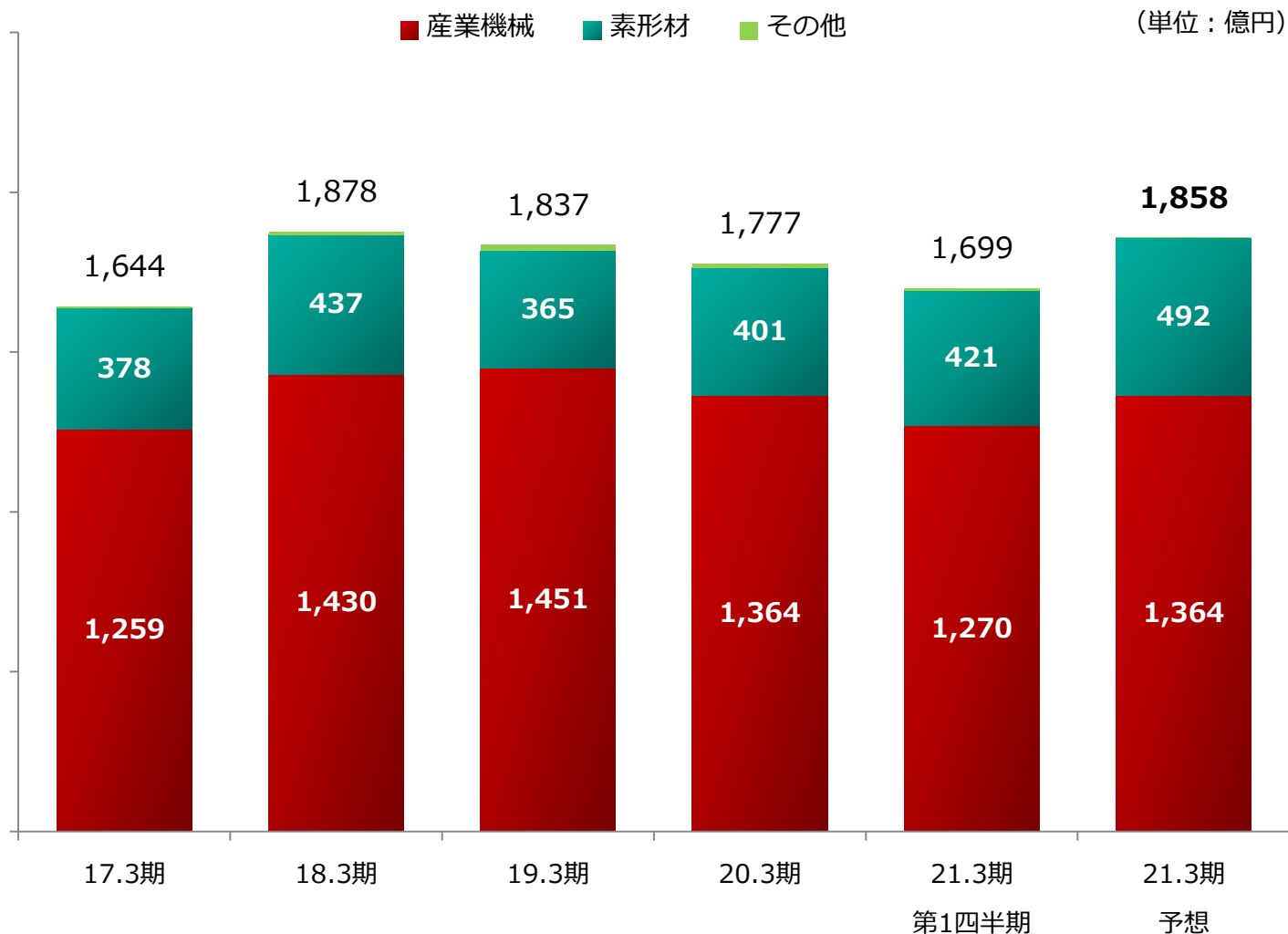
キャッシュ・フローの状況



研究開発費の状況



セグメント別受注残高の推移











事業概況

PART III



産業機械事業	景況感 (対前期)	受注環境
フィルム・シート製造装置		コロナウイルスの影響により悪化した市況は回復の兆し。セパレータ用途については市況は回復基調。
造粒機		中国を中心に高い水準での市況が継続。
二軸混練押出機		昨年からの景気低迷による市況悪化にコロナウイルスの影響が加わり不透明な受注環境だが、回復の兆し。
成形機		昨年からの景気低迷による市況悪化にコロナウイルスの影響が加わり、受注環境は厳しい。
FPD装置		日本・韓国・台湾で市況の動きは鈍いが、中国でスマホを中心に市況の回復が見られる。
アフターサービス		第1四半期はコロナウイルスの影響を大きく受けたが、受注環境は徐々に回復。

素形材・エンジニアリング事業	景況感 (対前期)	受注環境
<p>鋳鍛鋼品</p>		<p>コロナウイルスの影響により市況の厳しさは続く。</p>
<p>クラッド鋼管・鋼板</p>		<p>原油価格下落の影響によるLNGプロジェクトの遅れで、大口工事の受注が翌期へずれる懸念。</p>
<p>エンジニアリング他</p>		<p>コロナウイルスの影響で不透明な状況にあるが、プラント改修工事は堅調。</p>



参考資料



(単位:億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期 第1四半期	21.3期 (予想)
売上高	1,946	2,233	2,124	2,129	2,201	2,175	415	1,900
産業機械事業	1,263	1,443	1,593	1,702	1,736	1,714	342	1,470
樹脂製造・加工機械	325	364	361	502	525	569	135	610
成形機	536	564	576	645	727	653	98	450
FPD装置	-	-	-	-	164	114	-	-
その他	250	326	468	370	204	225	109	410
連結会社	152	189	188	185	116	153	-	-
素形材・エンジニアリング事業	662	748	512	408	412	414	68	400
鋳鍛鋼品	-	-	-	-	-	223	37	205
電力・原子力	274	192	193	172	125	-	-	-
石油精製用圧力容器	42	14	17	10	-	-	-	-
クラッド鋼板・鋼管	162	393	135	70	130	128	15	110
エンジニアリング他	-	-	-	-	-	-	16	85
風力発電機	57	12	39	16	-	-	-	-
その他	70	69	53	55	95	-	-	-
連結会社	57	68	75	85	62	63	-	-
その他事業	20	40	18	17	52	46	5	30
営業利益	75	144	123	213	242	187	10	70
産業機械事業	113	124	151	238	235	192	34	115
素形材・エンジニアリング事業	△39	7	△28	△15	26	24	3	15
その他事業	9	20	9	8	3	△1	0	0
純利益	△53	△166	△49	107	199	93	9	40

※21.3期より、集計区分を変更。

- 「産業機械事業」の「連結会社」に集計していた連結会社3社(伊藤エン지니어リング社、エフエス社、SM Plate社)を「樹脂製造・加工機械」に集計。
- 「産業機械事業」の「FPD装置」「その他」「連結会社」を「その他」に集計。

- 「素形材・エンジニアリング事業」の「鋳鍛鋼品」のうちの石油精製用圧力容器と、「その他事業」に集計していた風力保守業務を、「素形材・エンジニアリング事業」の「エンジニアリング他」に集計。

主要な財産状況・キャッシュフロー等の推移

(単位:億円)

	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期 第1四半期
総資産	3,196	2,931	2,753	2,974	3,055	2,971	3,011
産業機械事業	1,084	1,243	1,237	1,281	1,500	1,499	-
素形材・エンジニアリング事業	1,114	602	375	403	393	393	-
その他事業	130	120	118	117	146	80	-
純資産	1,382	1,113	1,075	1,186	1,298	1,324	1,320
1株あたり純資産額(円) ※17.3期以降は株式併合後	368.81	299.41	1,446.44	1,592.47	1,746.91	1,778.94	-
自己資本比率(%)	42.7	37.5	38.6	39.3	42.0	44.0	43.3
自己資本利益率(%)	△3.9	△13.5	△4.6	9.6	16.3	7.2	-
営業活動によるキャッシュフロー	115	197	120	267	11	189	-
投資活動によるキャッシュフロー	△26	△121	△135	△50	△13	△131	-
財務活動によるキャッシュフロー	△29	47	△12	△24	△37	△61	-
現金及び現金同等物の期末残高	491	614	586	778	738	744	-

日本製鋼所グループは、持続可能な社会の実現を目指す企業として、次の10原則に基づき、国の内外において、全ての法律、国際ルール及びその精神を遵守するとともに、高い倫理観をもって社会的責任を果たしていく。

1. 持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図るために、イノベーションを通じて、社会に有用で安全性に配慮した製品・技術・サービスを開発・提供する。
2. 公正かつ自由な競争に基づく適正な取引、責任ある調達を行う。また、政治、行政とは健全な関係を維持する。
3. 企業価値向上のため、適切な企業情報を積極的かつ公正に開示し、幅広いステークホルダーとの建設的な対話を行う。
4. 全ての人々の人権を尊重する。
5. 市場や顧客のニーズを製品・技術・サービスに反映した上で、顧客からの問い合わせ等に速やかに対応することにより、社会と顧客の満足と信頼を獲得する。
6. 従業員の多様性、人格、個性を尊重する働き方を実現し、良好な職場環境を確保する。
7. 環境問題への取り組みは企業としての重要な責務であることを認識し、主体的に活動する。
8. 企業市民として、社会に参画し、その発展に貢献する。
9. 市民社会や企業活動に脅威を与える反社会的勢力やテロ、サイバー攻撃、自然災害等に対して、組織的な危機管理を徹底する。
10. 経営トップは、この行動基準の精神の実現が自らの役割であることを認識し、実効あるガバナンスを構築した上で、当社および関連会社に周知徹底を図り、あわせてサプライチェーンにも本行動基準の精神に基づく行動を促す。
また、本行動基準の精神に反し、社会からの信頼を失うような事態が発生した時には、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たす。

A close-up, grayscale photograph of a hand with the index finger pointing towards a circular button. The button has the words 'FUTURE' and 'START' printed on it, separated by a horizontal line. The background is a dark, textured surface.

FUTURE
START

JSW 日本製鋼所